

薬物^{ヤク}に溺れた青春だった。
どん底に差し込んだ一筋の光！

日本芸術センター第9回映像グランプリ
グランプリ受賞作品

お白の闇

監督・脚本・原作：内谷正文

百瀬朔 小澤亮太 トクナガクニハル 篠原あさみ 村田雄浩

横関健悟 樹麗 光藤依里 お宮の松 宇鉄菊三 森一弥 春木生 米本哲也 藤原啓児 工藤潤矢 兎本有紀 RICO 福岡むつみ 高畑加寿子 三浦剛

『まっ白の闇』俳優 内谷正文が2005年より演じ続けている 薬物依存の一人体験劇「ADDICTION 今日一日を生きる君」を 内谷自らが指揮をとり映画化!

薬物依存症は回復はあるが完治のない病気。

そして周りにいる家族も

共依存症という病気になってしまう。

薬物依存症者は犯罪者、ダメな奴!

そういう偏見が少しでも無くなって欲しい。

「苦しんでいる人に回復の光があることを知って欲しい」

体験者でなければ撮れないこと、過去を悔やむのではなく

これから先をどう生きていくのか!

一寸先は闇ではなく光である!

『まっ白の闇』を撮った意義はそこにあります。

内谷正文(監督・俳優)

大林宣彦監督(映画作家)より頂いた
長文メッセージ、映画『まっ白の闇』讚!
公式HPにて公開中!!

この映画は何よりも熱量がある。

それは、監督だけでなく役者、スタッフ、エキストラ、
そして実際のロケ地にまで息遣いが聞こえてくる。

矢島弘一(脚本家・演出家)

絶望的な映画では無く
最後は人々の充実感が漂っていた。

万人が観るべき映画だ!

板尾創路(芸人)

Story

兄(昌)の影響でマリファナを始めた弟(俊)。ある日、俊は大麻所持の現行犯で捕まってしまう留置場でキンタと知り合う。その後、あることがきっかけで覚せい剤の虜となり俊は徐々に壊れてゆく。昌は薬物の世界に引き込んでしまったことを後悔しながら、必死に動き苦悩するが、状況はドンドン悪くなっていく。ついに俊は幻覚、妄想の世界でしか生きられなくなり、家族もろとも真っ暗闇のどん底に突き落とされる。薬物地獄に落ちた家族の行く先にあるものは……

共同監督・編集：大島孝夫 撮影：刈谷亮介、音声：仙田祐一郎、監修：香田淳、音楽：宮田正広、スチール撮影：川久保繁樹 広報デザイン：田中章子 和紙美術：杉田千晶

撮影協力：志木市ロケーションサービス 志木市役所 茨城タルタ今日一日ハウス 映音和建設 CHEERS 酵母カフェ COBO 天然水 橋伊東士木 橋アーバンプラン

『まっ白の闇』2017年・日本 / 115分

映画『まっ白の闇』公式HP <http://shiroyami.info>

[@Ma_shirono_yami](https://twitter.com/Ma_shirono_yami)

[f.https://www.facebook.com/masshironoyami/](https://www.facebook.com/masshironoyami/)



11月3日(土)~ K's cinemaほか順次公開

特別鑑賞券発売中 1,500円(当日一般1,800円)

初日舞台挨拶、トークイベントを予定(詳細は公式SNSをご覧ください)

新宿駅東南口階段下 甲州街道沿道ドコモショップを左へ

新宿 K's cinema

03 (3352) 2471 www.ks-cinema.com
各回入替・整理券制

